



新時代開く生徒の成長支援

駿台甲府高(甲府市塙部2丁目、八田政久校長)は1980年に開校以来、「チャレンジング・スピリット」を建学の精神に掲げ、小中高一貫教育機関として発展を続けてきた。普通科と美術デザイン科はともに、充実した教育環境の下、目標に合わせて選べる豊富なカリキュラムと最先端の学びを提供。新時代を切り開く生徒の育成に取り組んでいる。

目的別に充実の学習環境

普通科は目標に合わせて選べる「コースフィールド制」を設けている。
最難関国立大や国公立医学部医学科を目指す「スーパーコース」、確かな学力と探究心を育み、主要国公立大・私立大を目指す

「コアコース」、高度なスポーツ技能と知識の習得を目指す「アスリートコース」の3コースを設定。さらにコアコースをそれぞれの興味関心に基づいて4つのフィールドから自分の深めたい学びを選びます。

アスリートコース以外の

「コアコース」、高度なスポーツ技能と知識の習得を目指す「アスリートコース」の3コースと「フィールド」は2年次になる時に選択するが、3年次になる時に変更することも可能だ。

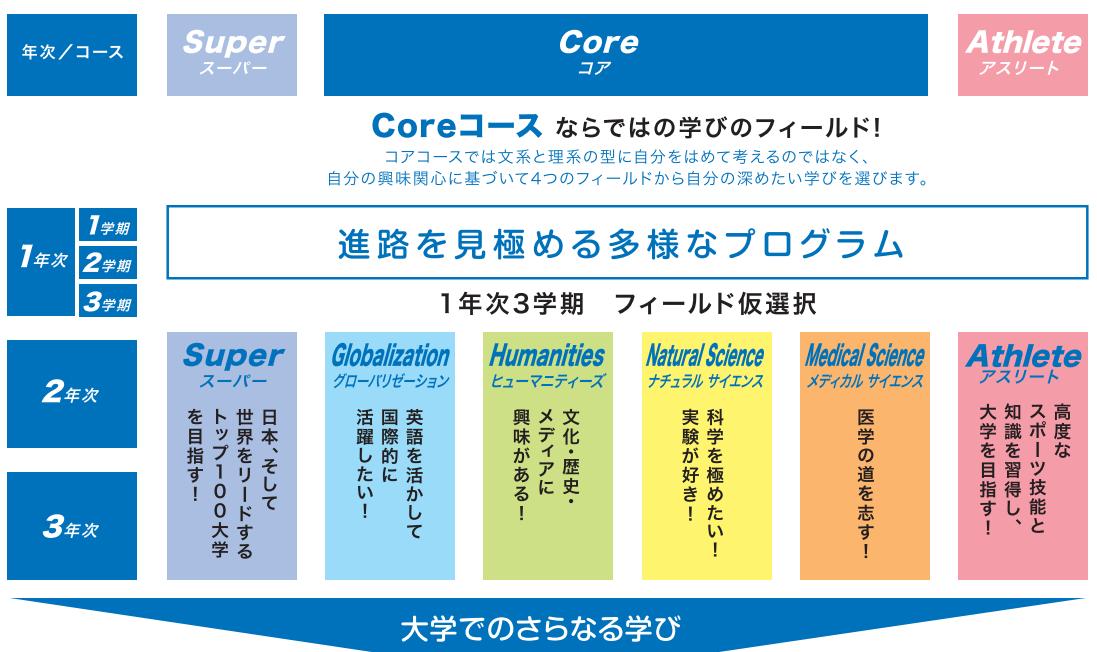
スーパーコースは高難度の教材による授業や、東京大の過去問題を用いた放課後講習、宿泊勉強合宿など、仲間と切磋琢磨しながら難関大を目指す。

コアコースは新学習指導要領が目指す3要素(知識・技能・思考力・判断力・表現力)を育む授業を実践。大学の卒業論文のように興味関心に合わせて研究・発表もする。

アスリートコースは栄養学やメンタルトレーニングなどスポーツに関わる技術・知識を学ぶ。大学進学率は高く、スポーツで培った能力を生かし、さまざまな分野で活躍できる力を伸ばす。

進路指導部主任の羽田昌樹主幹教諭は「従来の文系・理系の2択ではなく、生徒が将来を見据え、目標に合わせて選べる学び方になります」と話している。

いずれのコースも授業を重視し、豊富な時間数を確保



駿台甲府高が設けている「コースフィールド制」

に一新。業界標準のグラフィックソフトやアプリ、ペントアプレット、3Dプリンターも導入した。CGアプリの基礎やビジュアルデザインの授業では、イラストやチラシ制作などの活用、色彩計画の応用などを学び、デジタルアート分野への進路を目指す生徒にも対応する。

創作環境の充実を図っていき、少人数制のきめ細やかな指導をはじめ、アトリエやデジタル機器は放課後

も自由に活用できる。県内外での写生会や美術館、美大への見学会を企画しているほか、年に一度

文武共存を目指す駿台は、部活動での活躍も目覚ましい。ハンドボールや陸上競技、テニス、水泳など

の運動部、囲碁や将棋、写

真、吹奏楽などの文化部と

もに、輝かしい成績を収めている。書道パフォーマンスで商店街活性化を目指す活動をする生徒も。「生徒

は自ら考え行動していま

す。駿高生は勉強だけでは

なく、主体性を身に付ける

ことができる」と八田校長。

駿高生たちはさまざま

な体験を通して、これからの時

代を切り開く力を身に付け

、充実した高校生活を

送っている。

羽田主幹教諭は「一貫校

として、小中高の全教員が

進路指導に当たることも特

長です」と話す。小学校の

教諭を目指す高校生の進路

指導を、駿小の教諭が担当

したこともあるという。個

別面談や面接・小論文の対

策など、親身な指導で目標

合格者を輩出した。

に向かう生徒をバックアッ

プしている。

学力向上への教育環境の

整備と生徒の努力が実を結

び、2020年には東京大

や医学部医学科、難関の国

公立大・私立大へも多数の

合格者を輩出している。

電子黒板を利用し、効果的な授業が行われている

駿台予備学校と連携し、科の理解度を確認するほか、個々のレベルに応じた放課後講習、夏期・冬期講習などを実施する。

放課後や長期休暇中に、映像講座「駿台サテネット」

21」を受講できるほか、駿

台予備学校の実力講師によ

る特別講習、進路講演会なども開かれている。

テクノロジーで教育を進

化させる「エドテック」が注目される中、駿高はICT教育も推進する。1人1

台のタブレット端末導入、

電子黒板の設置のほか、A

Iを活用した先進的なコン

テンツの運用も検討するな

ど、学力向上に向けたIC

Tの効果的な活用を進めて

いる。

羽田主幹教諭は「一貫校

として、小中高の全教員が

進路指導に当たることも特

長です」と話す。小学校の

教諭を目指す高校生の進路

指導を、駿小の教諭が担当

したこともあるという。個

別面談や面接・小論文の対

策など、親身な指導で目標

合格者を輩出した。

に向かう生徒をバックアッ

プしている。

学力向上への教育環境の

整備と生徒の努力が実を結

び、2020年には東京大

や医学部医学科、難関の国

公立大・私立大へも多数の

合格者を輩出している。

電子黒板を利用し、効果的な授業が行われている



文武共存の学校生活

羽田主幹教諭は「一貫校

として、小中高の全教員が

進路指導に当たることも特

長です」と話す。小学校の

教諭を目指す高校生の進路

指導を、駿小の教諭が担当

したこともあるという。個

別面談や面接・小論文の対

策など、親身な指導で目標

合格者を輩出した。

に向かう生徒をバックアッ

プしている。

学力向上への教育環境の

整備と生徒の努力が実を結

び、2020年には東京大

や医学部医学科、難関の国

公立大・私立大へも多数の

合格者を輩出している。

電子黒板を利用し、効果的な授業が行われている



学校生活では仲間とさまざまな体験ができる

ことになります。卒業生は幅広い分

野で活躍しています」と話

している。

イン専門学校に限らず、

多岐にわたる。四條明惠教

諭は「本校で学ぶデザイン

や色使いの知識は、さまざ

まな業種で生かすことができる

ことです。卒業生は幅広い分

野で活躍しています」と話

している。

駿台甲府高は、文武共存の

学校生活を実現するため、

多くの部活動を展開してい

ます。また、地域社会との

連携を通じて、生徒たちの

社会貢献意識を育んでい

ます。卒業生は、社会に貢

献する意欲を持った人材とな

っています。

駿台甲府高は、文武共存の

学校生活を実現するため、

多くの部活動を展開してい

ます。また、地域社会との

連携を通じて、生徒たちの

社会貢献意識を育んでい

ます。卒業生は、社会に貢

献する意欲を持った人材とな

っています。

駿台甲府高は、文武共存の

学校生活を実現するため、

多くの部活動を展開してい

ます。また、地域社会との

連携を通じて、生徒たちの

社会貢献意識を育んでい

ます。卒業生は、社会に貢

献する意欲を持った人材とな

っています。

駿台甲府高は、文武共存の

学校生活を実現するため、

多くの部活動を展開してい

ます。また、地域社会との

連携を通じて、生徒たちの

社会貢献意識を育んでい